

基本政策 1 円滑な移動と安全性が確保される

【基本政策の方向性】

道路環境の安全安心の確保や利便性の向上により、市民の円滑な移動と安全性が確保されている“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「安全で快適な交通環境」

本市の骨格となる幹線道路の整備や地域二線を踏まえた生活道路の整備を推進し、市民が市内外へ円滑に移動できるよう、安全で快適な交通環境の充実に努めます。

【数値目標】	現状値	目標値
道路整備の満足度（市民意識調査）	39.2%（H30）⇒	50.0%（R7）

基本施策

1－1 広域幹線道路¹・幹線道路整備の推進

快適な市民生活や企業活動の活性化につなげるため、環境負荷の低減、災害対応力の向上など、市民生活の安全安心の確保に向けた幹線道路の整備を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
幹線道路整備延長	39.7km/48.6km (81.7%)（R1）⇒	40.3km/48.6km (82.9%)（R7）

【主な取組】 幹線道路網の整備

広域的な道路網とのアクセスを強化することにより、市内外への移動の円滑化や利便性の向上を図るため、幹線道路網の整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
整備延長	－⇒	0.7km（R7）

¹ 一般国道、主要地方道など広域の自動車交通を円滑に処理する役割を持つための道路

1-2 生活道路整備の推進

地域の利便性や安全性を向上させるため、通学路や交差点の安全対策、地域ごとの特性と魅力を活かし、ニーズを踏まえた生活道路の整備を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
生活道路整備延長	185.2km/349.9km (52.9%) (H30)	⇒ 186.0km/349.9km (53.2%) (R7)

【主な取組】生活道路網の整備

道路空間の安全対策や道路拡幅により、市民生活の利便性の向上を図るため、生活道路網の整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
整備延長	－	⇒ 0.8km 以上 (R7)

関連する SDGs ゴール



道路環境の安全安心の確保に向けた環境づくりを進めます。

関連ターゲット (3-6)



誰もが容易に移動しやすい道路環境を維持していきます。

関連ターゲット (9-1)



すべての人のニーズに配慮した道路環境の機能強化を進めるとともに、持続的な成長に向けた道路空間づくりを進めます。 関連ターゲット (11-1、11-2、11-7、11-a)

関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン（令和3年度～令和22年度）

富士見市道路長寿命化修繕計画（令和2年度）

富士見市橋梁長寿命化修繕計画（令和元年度）

関連部署

建設部 道路治水課